

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-101701

(43)Date of publication of application : 07.04.2000

(51)Int.Cl.

H04M 1/15
H02G 11/00

(21)Application number : 10-265976

(71)Applicant : KEAKOMU:KK

(22)Date of filing : 21.09.1998

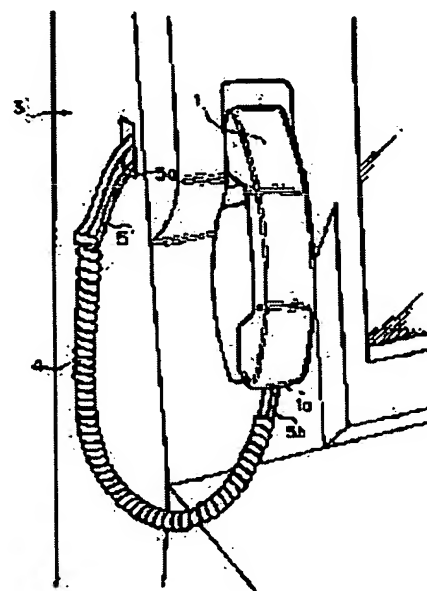
(72)Inventor : HAYASHI NOBUYUKI

(54) TRANSMITTER/RECEIVER FALL/DAMAGE PREVENTION STRUCTURE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To make it possible to prevent fall and damage of a transmitter/ receiver by providing an extensible member, while connecting one end to a body side and the other end to a transmitter/receiver side for suppressing expansion of a curled cord within a specific range in the curled cord.

SOLUTION: A transmitter/receiver 1 is arranged at a specified height in an almost vertical direction to a floor surface 2, a body 3 side and the transmitter/receiver 1 are connected with a curled cord 4, and an extensible member 5 of which one end is connected to the body 3 side and the other end is connected to the transmitter/receiver 1 side and which suppresses expansion of the curl code 4 within a specified range is provided in this curled cord 4. Then, the curled cord 4 is turned into a curl shape extensible, a speed at which it expands at the time of the transmitter/receiver 1 fall is slowed down, and the code is made to stop expanding when it expands to a certain length. As a means for that, a string-like extensible member 5 is put inside the curled cord 4, one end of this is connected to the body side, the other end is connected to the transmitter/receiver 1 and the phenomenon that the curl code 4 is expanded too much at the time of fall is regulated by the extensible member 5.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 15.11.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 01.10.2002

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-101701

(P2000-101701A)

(43) 公開日 平成12年4月7日(2000.4.7)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	マークシート(参考)
H 0 4 M 1/15		H 0 4 M 1/15	5 K 0 2 3
H 0 2 G 11/00	5 3 0	H 0 2 G 11/00	5 3 0

審査請求 有 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平10-265976

(22) 出願日 平成10年9月21日(1998.9.21)

(71) 出願人 591253593

株式会社ケアコム

東京都調布市多摩川3丁目35番地4

(72) 発明者 林 信行

東京都調布市多摩川3丁目35番地4 株式会社
ケアコム内

(74) 代理人 100081259

弁理士 高山 道夫

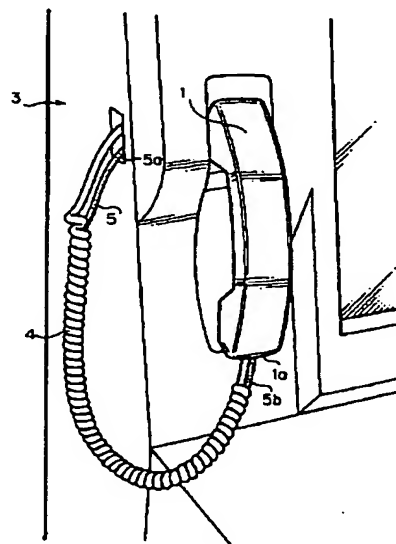
Fターム(参考) 5K023 BB26 CC02 CC06 JJ02 QQ04

(54) 【発明の名称】 送受話器の落下、破損防止構造

(57) 【要約】

【課題】 送受話器が落下しても床にぶつかることがなく、その破損を防止するようにした。

【解決手段】 本体と送受話器とを接続するカールコード内に、伸縮性部材を設け、この伸縮性部材によって、送受話器が落下した場合、カールコードが伸び送受話器が床まで達するのを抑止する構成とした。



- 1 送受話器
- 2 床
- 3 本体
- 4 カールコード
- 5 伸縮性部材

【特許請求の範囲】

【請求項1】 送受話器(1)が床面(2)に対し、ほぼ垂直方向の所定の高さに配置されたものにおいて、本体(3)側と送受話器(1)とがカールコード(4)で接続され、このカールコード(4)内に、一端が本体(3)側に接続されているとともに他端が送受話器(1)側に接続され、かつカールコード(4)の伸びを所定の範囲内に抑制する伸縮性部材(5)を設けたことを特徴とする送受話器の落下、破損防止構造。

【請求項2】 請求項1記載において、所定の範囲内とは送受話器(1)が落下した際に床にぶつからない範囲であり、かつ伸縮性部材(5)はゴム紐からなる送受話器の落下、破損防止構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、電話機、一般的な電話タイプのインターホンや病院に設置されているナースコールなどの送受話器の落下、破損防止構造に関する。

【0002】

【従来の技術】周知のように、送受話器はカールコードを介して本体と接続されている。

【0003】そして、この種の送受話器としてはいわゆる壁掛けタイプの本体に対し着脱自在に取付けられたものがある。

【0004】図6は床2上に立設されたナースコールの本体3に取付けられた送受話器1の落下状態を示すものであり、送受話器1はその使用時には本体3から取り外して使用するが、誤って落とす場合がある。

【0005】この場合、図6に示すように、カールコード4は伸び送受話器1が床2にぶつかることがあり、その際、送受話器1は破損してしまうことがある。床にぶつかった際、送受話器1のケースにひびが入る程度であればまだしも、内蔵されている振動板や基板などの断線を招くと、使用不可となってしまう。送受話器1が病院で使用されるナースコール用の場合、重症患者が対象であったり、緊急事態が生じることがあり、このようなときに送受話器1が使えなくなると問題である。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】この発明は上記のことに鑑み提案されたもので、その目的とするところは、送受話器の落下、破損を防止したことにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】この発明は、送受話器1が床面2に対し、ほぼ垂直方向の所定の高さに配置されたものにおいて、本体3側と送受話器1とがカールコード4で接続され、このカールコード4内に、一端が本体3側に接続されているとともに他端が送受話器1側に接続され、かつカールコード4の伸びを所定の範囲内に抑制する伸縮性部材5を設けることにより、上記目的を達

成している。また、上記において、所定の範囲内とは送受話器1が落下した際に床にぶつからない範囲であり、かつ伸縮性部材5はゴム紐が用いられる。

【0008】

【発明の実施の形態】カールコードはコードがカール状になっているため、伸縮自在となっているが、送受話器落下時に伸びる速度を遅くするか、ある長さまで伸びると伸びが止まるようにしている。その手段としてカールコードの内部に紐状の伸縮性部材を入れ、その一端を本体側へ接続し、他端を送受話器に接続し、落下時のカールコードの伸びきを伸縮性部材によって規制している。

【0009】

【実施例】図1は本発明の一実施例を示す。図中1は床面2に対しほぼ垂直方向の所定の高さに配置された送受話器、3は送受信機1を有するナースコールのような本体、4は周知のように本体3と送受話器1とを電氣的、かつ機械的に接続するカールコードである。

【0010】本発明で特徴的なことは、このカールコード4内に例えばゴム紐のような伸縮性部材5が挿通されている。図2はその部分拡大図を示す。しかして、この伸縮性部材5の一端5a側は本体3側に、また、他端5b側は送受話器1のケーシング1aの下端に接続されている。この場合、伸縮性部材5はカールコード4内に設けられているため、外観的に良好である。

【0011】伸縮性部材5の接続手段としては、図3に示すように、伸縮性部材5の一端5aを部材Aの穴aに通し、端部に抜け防止用の結び目5cを設ければ良い。他端5bも同様にすれば良い。あるいは本体3側や送受話器1側にそれぞれ例えばフック状の係止部(図示せず)を設けるなどし、そこに伸縮性部材5の各端部を結び付けても良い。あるいは、他の例として端部を接着しても良い。さらに、その他適宜の接続であっても良い。

【0012】伸縮性部材5の他の例としては例えばナイロン製の紐を用いることも可能である。また、伸縮性、耐久性などを有していればその他の適宜の材質のものであっても良い。

【0013】使用にあたっては、図4に示すように、内部の伸縮性部材5は伸縮性があるため、カールコード4を容易に伸ばすことができるので、操作性を損なうこともない。この伸縮性部材5は既存の送受話器付ナースコールなどの長いカールコード内に組み込むことができる。

【0014】また、伸縮性部材5の伸びきを床までの距離以下の長さとしておけば、図5に示すように、送受話器1を落としても、カールコード4の伸びを床2にぶつからない範囲に抑制することができ、その破損を防止することができる。また、カールコード4の心線の電氣的接続も保護することができる。

【0015】なお、上記の実施例では、ナースコールの

3

適用例について説明したが、他の通信機器、例えば壁掛け式の電話機にも適用し得ることは言うまでもない。また、ナースコールは病院に設けられて周知のもので、この構造は本発明の要旨と直接関係ないため、詳細説明は省略する。

【0016】

【発明の効果】 以上のように、本発明によれば、本体 3 側と送受話器 1 間とを接続するカールコード 4 内にカールコード 4 の伸びを所定の範囲内に抑制する伸縮性部材 5 を設けたため、送受話器 1 を落としても床にぶつかることがないので、その破損を未然に防止することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の第一実施例の斜視図。

【図 2】 同上の部分拡大図。

【図 3】 本発明の伸縮性部材 5 の端部の抜け止めの一例を示す。

【図 4】 同上の使用例。

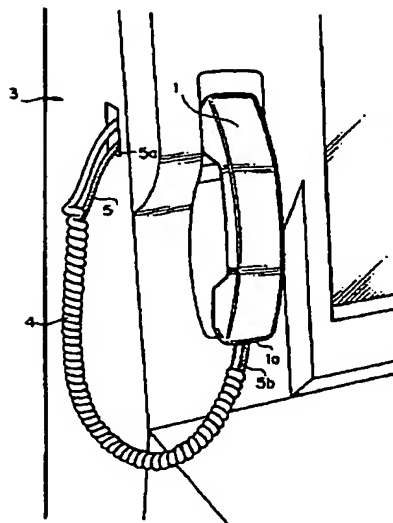
【図 5】 同上の送受話器が落下した状態を示す。

【図 6】 従来例を示す。

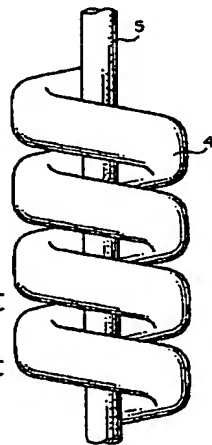
【符合の説明】

- | | |
|---|--------|
| 1 | 送受話器 |
| 2 | 床 |
| 3 | 本体 |
| 4 | カールコード |
| 5 | 伸縮性部材 |

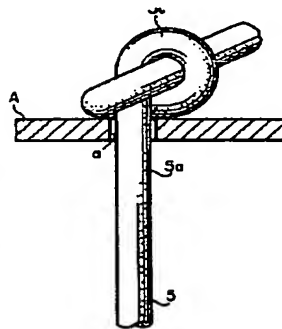
【図 1】



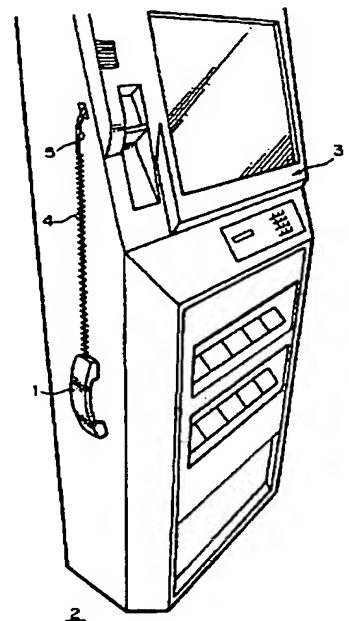
【図 2】



【図 3】

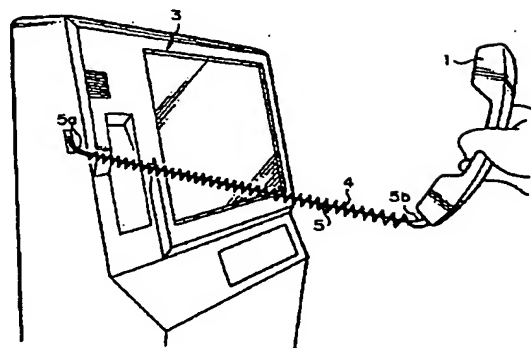


【図 5】



- | | |
|---|--------|
| 1 | 送受話器 |
| 2 | 床 |
| 3 | 本体 |
| 4 | カールコード |
| 5 | 伸縮性部材 |

【図 4】



【図6】

